



# 大阪市立 東中本小学校

所在地 〒537-0021 東成区東中本2-9-3

電話 06-6971-0048

校長名 前田 耕一

学級数 19学級 (内 特別支援学級7)

児童数 433人 標準服 有 集団登校 有



## 学校概要

本校は、昭和12年10月1日に大阪市立東中本尋常小学校として開校しました。

本校のめざす子ども像として、

- ☆自らあいさつできる子ども
- ☆自ら課題を見つけ、自ら解決できる子ども
- ☆自分の思いや考えを豊かに表現する子ども
- ☆友だちを思いやり、助け合い、教え合い、励まし合う子ども
- ☆自ら進んで運動する子ども

をもとに「わかる できる 役に立つ」のある学校を目指しています。また、全学年で、英語学習 (外国人講師を招いて) を楽しく学んでいます。

## 「運営に関する計画」の概要

大阪市の「子どもが安心して成長できる安全な社会の実現」、「心豊かに力強く生き抜く未来を切り拓くための学力・体力の向上」の2本柱の目標をもとにして、

- 新体力テストで大阪市平均程度の体力をもつ子を育てる。
- 「あいさつ」指導に力を入れ、学校内外できちんと挨拶のできる子を育てる。
- 読書環境を整えるとともに読書指導に力を入れ、全校アンケートで「1週間に3度以上本を手にとった」という回答が75%を超えるようにする。
- 授業にICT機器を取り入れるなど工夫を凝らした授業実践を行い、全校アンケートで「授業がよく分かる」への肯定的な回答を80%以上にする。

をめざしています。

## 学力の状況と学力向上に向けた取り組み

国語科では「話すこと聞くこと」領域に比べて、「書くこと読むこと」領域に課題があります。また算数科では「知識」に関する問題では全領域で一定の成果を修めているものの、「活用」に関する問題では数学的な考え方をを用いて問題を解くことや自分の考えを記述することに課題があります。

そこで国語科では朝の読書タイムの実施や、記述を含めて

様々な学習場面において表現できる場を設けることなどを行っています。

算数科では、基礎的・基本的な知識・技能が確実に定着した児童、ICT機器を日常的に活用することができる児童、「主体的・対話的」な学習から学びを深めることができる児童、算数が楽しいと感じ、授業などを通して身に付けた知識・技能等を進んでいかそうとする児童をめざしています。

★平成31年度 (令和元年度) 全国学力・学習状況調査結果 (平均正答率)

国語	算数
54	58

## 体力の状況と体力向上に向けた取り組み

数年前より、体育的活動の機会を増やしてきました。水泳記録会・小体連総合スポーツ交歓会への参加等により、子どもたちの運動に関する関心は高まってきました。今後基礎的な体力づくりのために、体づくり運動・走運動を中心として、授業の充実のために指導力の向上と実技研修の実施、運動機会の充実に取り組めます。



★令和元年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果 (種目別平均値)

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン
男子	16.71	17.90	29.33	41.26	44.60
女子	16.17	18.41	36.00	41.14	36.95
	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	
男子	9.82	162.38	24.00	52.41	
女子	9.93	156.77	14.95	56.73	

## 東中本小学校のめざすもの

「豊かな心を持ち、すすんで学び、いきいきと活動する子どもを育てる」を教育目標とし、子どもが授業のめあてを自分のこととしてしっかりと受け止め、自らの考えや感じたことを出し合って、話し合いを深めていく子どもの育成をめざしています。具体的には、人の意見を聞いて自分の意見を持ち、自分の意見を発表する。また自分はどのように考えているか、これからどうしたらよいか明らかにすること。また互いに信頼して認め合う活動をすることです。

## 読書活動の推進

毎週金曜日には授業の始まる前に、読書タイムを設けて全学年で読書をしています。学校の一角に、「青空文庫」のコーナーを設けています。青シールを貼った本を、1日だけ借りられます。また毎週金曜日に学校図書館補助員の活動があり、図書室開放、本の整理整頓と児童への「読み聞かせ」により図書への興味を促してもらっています。

## ふれあい教育 (体験活動)

地域活動では、昔遊び・もち焼き体験・地域の清掃があります。また運動会には、平成元年より東中本音頭を毎年行っています (令和2年度除く)。東中本音頭は、地域の方に振り付けをしていただき、運動会で全校児童が踊ります。



## 安全見守り活動

東中本連合の町会長を始め、女性会、民生委員、子ども会、その他町会の役員をも含めたボランティアの方々で構成されています。34人の見守り隊により、学校の登下校の見守り活動が行われています。見守り隊の方は、毎日のように子どもたちと接していると、子どもたちの表情や対応によって健康状態や今日の様子

が手に取るようにわかるようで、とても楽しみで励みにもなっているようです。



## 習熟度別少人数「わかる授業」の推進

書いたり、話したり、聞いたりする言語活動を大切に、3年生以上で、国語・算数の習熟度別少人数授業を行なっています。各学年を複数のグループに分けて、個々にあったグループで十分にわかるまで、ゆっくり時間をかけて授業を進めています。また、自分から学習を進めていくようにして、指導しています。

## SMILEプロジェクト

6年生の児童が中心となり、コロナ禍の中でも学校で楽しめる計画を立て、学校行事として行いました。ひがなかスマイルフェスティバル (ひがフェス) では、teamsを使い、クイズやジャンケンなどを楽しみました。また、ひがなかジャンププロジェクトでは、卒業する6年生と各学年が一緒に長なわをし、交流を深めました。みんなが楽しく過ごせるよう、温かなことばをかける姿が多く見られ、思いやりや助け合う心が育ったり、6年生はリーダーシップを発揮したりする良い機会となりました。

